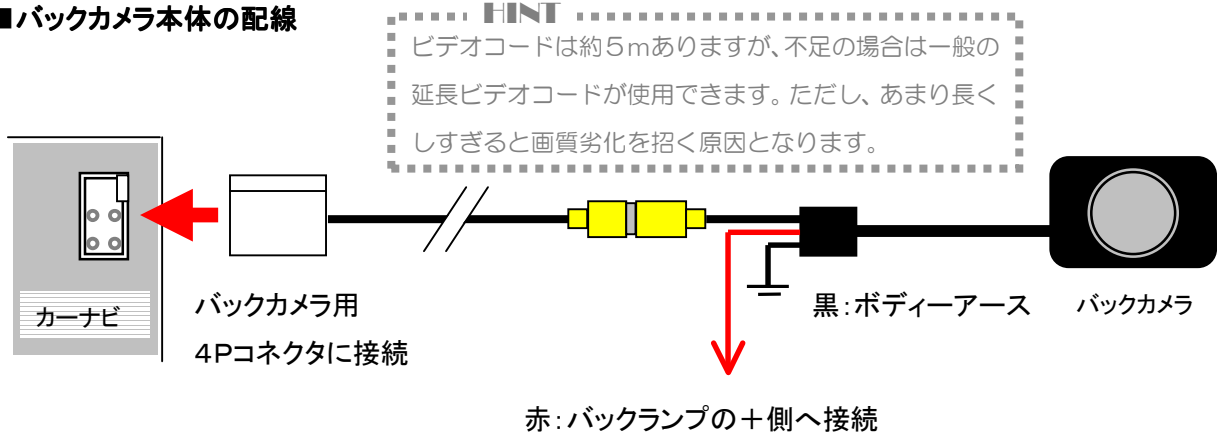


トヨタ/ダイハツ/イクリップス対応バックカメラ

特徴

4Pバックカメラコネクタに直接接続できます。純正カメラのリプレースを手軽に実現します。

■バックカメラ本体の配線



作業手順

- 1、カーナビにバックカメラ用4Pコネクタを接続します。
- 2、カメラの電源線（赤）をバックランプの+側へ接続します。アース線（黒）をボディーに接続します。
- 3、HDDナビをはじめ一部のナビでは、**ダイアグノシスモードにてバックカメラの認識設定**を行っていただく必要があります。ダイアグノシスの設定手順は以下のURLより、**■トヨタ純正ナビ情報**をクリックしていただきご覧ください。

<http://www.micro-factory.net/support/support.html>

■ディレイコントロールユニット

ディレイコントロールユニットは、リバース信号線に割り込ませることで使用します。

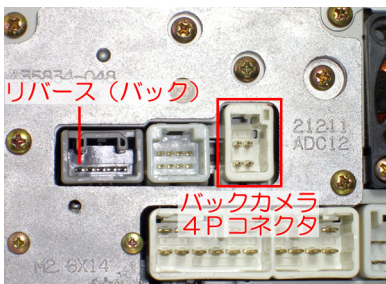
得られるディレイ時間はカーナビの入力閾値や車の出力電圧レベルによって違います。

電線	説明
— (紫)	リバース入力(0~12V まで対応)
— (灰)	リバース出力(ディレイ時間は約1~2秒。)
— (黒)	ボディーアース

※本ユニットの出力（灰）はカーナビにリバース信号を与えることのみを想定しています。リレーなど過大な負荷を直接接続しないでください。

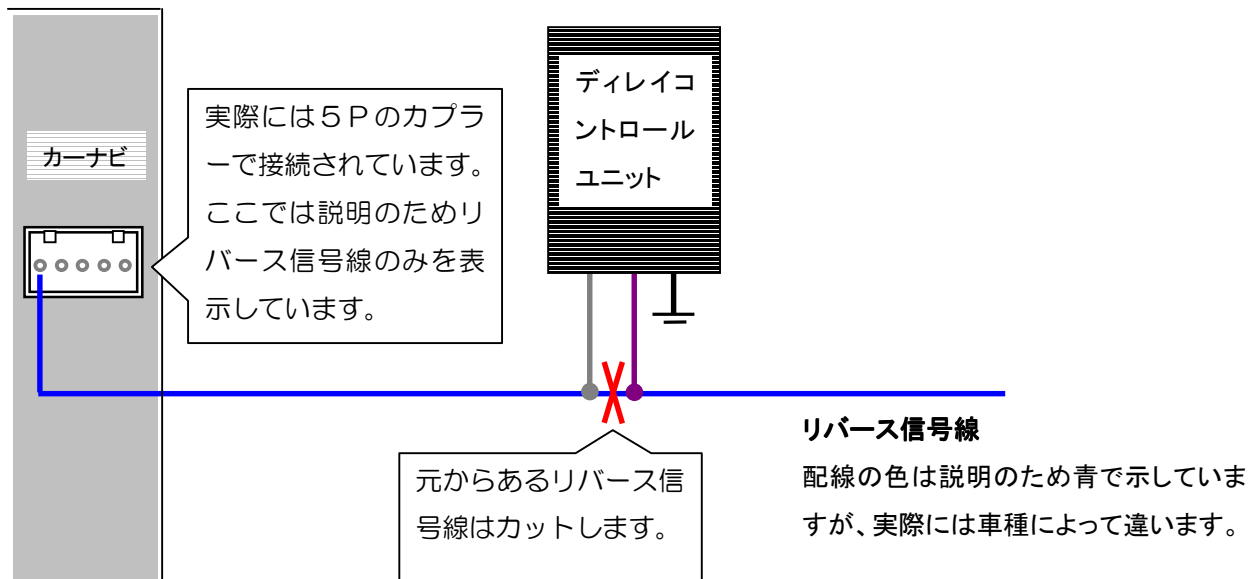
※リバース信号を必要とする他の機器を接続するには、本ユニットの入力（紫）側に接続してください。

■カーナビ参考画像



HINT
リバース信号線は5Pコネクタにあります。画像の位置（左端）を参考にテスター等で確認してください。車によってはハーネスは接続されていても、リバース信号が来ていないものもあります。

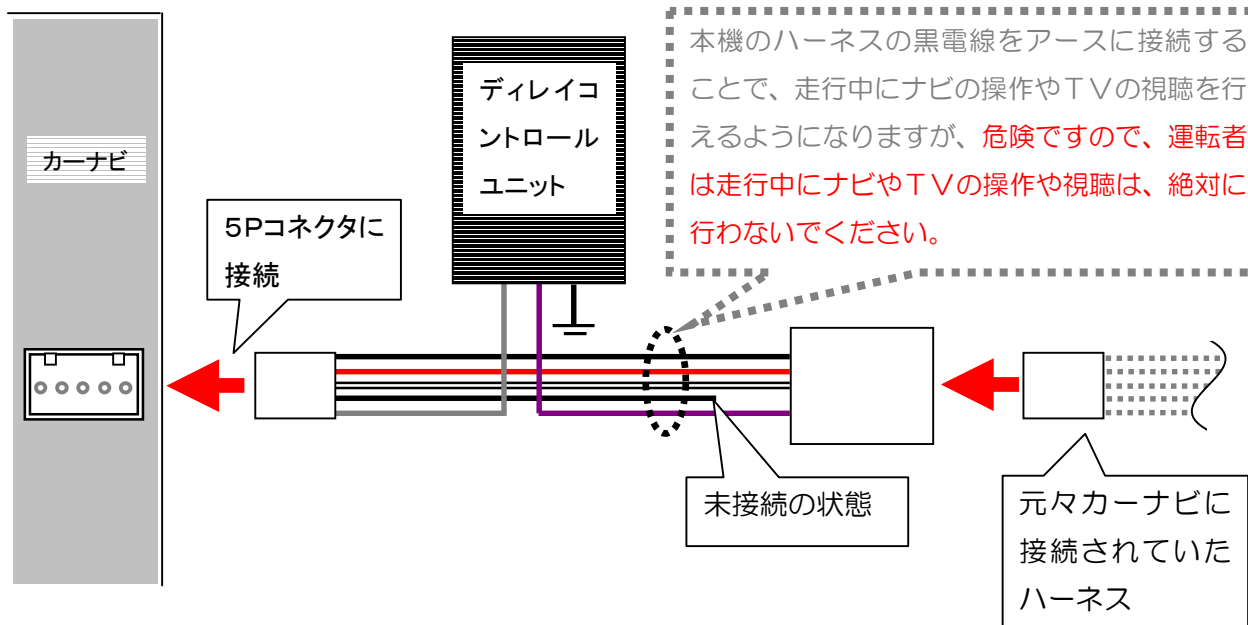
■ディレイコントロールユニットの配線(ギボシ端子で接続する汎用モデル)



作業手順

- 1、リバース信号線をカットし、本機の紫（リバース入力）と灰（リバース出力）を割り込ませます。
- 2、ディレイコントロールユニットのアース線をボディに接続します。

■ディレイコントロールユニットの配線(専用ハーネス付きモデル)



作業手順

- 1、元からある5Pコネクタを外し、本機のハーネスを割り込ませます。
- 2、ディレイコントロールユニットのアース線をボディに接続します。

■重要

配線作業は慎重・確実に行ってください。不確実な作業は火災など重大な事故の原因となります。